

平成27年度西区実施プラン 期末報告

平成28年（2016年）3月

西区では、毎年度「西区実施プラン」を策定し、区の使命と区運営の目標・基本方針を定め、それに沿って計画した各重点取組項目について、検証しながら進めてきました。

その結果、平成27年度の実行結果の概要は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

平成28年度以降も、区民の皆様と連携しながら、区民が主役のまちづくりを進めてまいります。

平成28年（2016年）3月31日

西区長 うらや 浦屋 ゆずる 謙

I 西区実施プランの全体

西区の使命

区民だれもが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、区民の自主的な活動を支援しながら、区民が主役のまちづくりを進めていくことが西区の使命です。

西区の目標・運営方針

西区は、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく環境・文化芸術・防災の各事業を中心に行うとともに、次の方針でまちづくりや区役所の運営を進めます。

- ◆ 地域の豊かな自然環境や文化芸術を活かしたまちづくりを進めます。
- ◆ 安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。
- ◆ 区民から親しまれ信頼される区役所を目指して、市民感覚を大切に、市民の立場に立って仕事を進めます。

重点取組項目

- 1 環境にやさしいまちづくり
- 2 文化芸術を活かしたにぎわいあるまちづくり
- 3 誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり
- 4 地域と共に進めるまちづくり

Ⅱ 重点取組項目

1 環境にやさしいまちづくり

西区環境まちづくり協議会を中心とした環境活動の支援

住民による環境活動が定着・継続・発展するまち（通称「エコまち」）を実現するため、区民協議会である「西区環境まちづくり協議会」の活性化を図るとともに、同協議会が実施する活動を支援しました。

【活動例】

- ◆ 「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区コドモ自然学校」
琴似発寒川や三角山など西区の自然の中で、季節に応じたプログラムを行う自然体験教室を実施しました。（エコキッズ・プログラム 47 回 2,648 人、親子でエコキッズ・プログラム 2 回 42 人、西区コドモ自然学校：2 回～36 人）
- ◆ 「親子で環境満喫バスツアー」
リサイクルや省エネ啓発を目的に、親子で環境について学べる市内環境関連施設見学バスツアーを実施しました。（8月7日（金）親子 20 組 41 人。北海道コカ・コーラボトリング(株) 札幌工場ほか。）
- ◆ 「平成 27 年度西区こども環境広場」
札幌市生涯学習総合センターちえりあにて、さまざまな体験やゲームなどを通じて、楽しみながら環境について学ぶ体験型環境イベント「西区こども環境広場」を実施しました。1 階ロビーでは、手稲東小学校や西園小学校、発寒小ミニ児童会館の児童が、日頃より取り組んでいる環境活動について、ステージ発表をしました。（12月13日（日）480 人）



水生生物観察会
(エコキッズ・プログラム)



西区こども環境広場

琴似発寒川の環境保全推進事業

各連合町内会や企業等との協働により、琴似発寒川の一斉清掃（5月16日及び9月5日、合計2,885人）とやまめの稚魚放流（5月23日、1,970人、稚魚放流数30,000匹）を行いました。

※ 例年10月の第一土曜日に実施している「サクラマス遡上観察会」は、悪天候のため中止となりました。



26年目となったやまめの稚魚放流

〈数値目標〉 一斉清掃とやまめの稚魚放流参加人数 5,000人 ⇒ 実績4,855人

キッズ・シェフ

区内で生産される旬の野菜・果物の美味しさを体感し、地産地消や食の大切さを学ぶ親子料理教室「キッズ・シェフ」を開催しました。

夏には、小別沢の「まほろば自然農園」での野菜収穫と、琴似のスープカレー店「らっきょ」のイデ店主によるスープカレー料理教室を、秋には、山の手の「斉藤りんご園」の見学と、琴似の洋菓子店「モンジェリ琴似」の守屋店主によるりんごを使ったお菓子作り教室を行いました。（8月3日・10月12日、延べ20組43人）



スープカレー料理教室



りんご園の見学

「みどりの貯金箱」活動への支援

公園の落ち葉・刈草などの堆肥化、せん定枝・伐採木の活用など行いました。

伐採木等の一般市民配布2回を実施したほか、みどり資源の有効活用となる「みどりの貯金箱」活動への支援として新たな拠点として福井緑地、オンコ公園、発寒川緑地、発寒河畔公園に新設しました。



発寒河畔公園の設置状況

〈数値目標〉 みどりの貯金箱設置数 3カ所新設 ⇒ 実績4カ所新設（合計23カ所）

2 文化芸術を活かしたにぎわいあるまちづくり

西区文化フェスタ

区民が気軽に文化芸術を鑑賞できる機会を提供するため、ターミナルプラザことにパトスを会場に、「西区文化フェスタ 2016」として、コンサート、ライブ、ダンス、演劇、日舞などさまざまなジャンルのイベント16公演を2月2日から28日まで1か月にわたり開催しました。

〈数値目標〉 来場者数 2,000人 ⇒ 実績 1,744人



2月16日～21日書・華・木展



2月28日わんわんズフェスティバル

コトニ ジャズ

地下鉄琴似駅を会場に、札幌で活躍するプロのミュージシャンが出演する本格的なジャズライブを行いました。また、ことにパトスやちえりあホールを会場とした拡大版コンサートを実施しました。(全6回、約1,350人)

- ◆6月24日 小野健悟トリオ (地下鉄琴似駅)
- ◆7月17日 蛇池雅人トリオ (地下鉄琴似駅)
- ◆8月19日 長沼発トリオ (地下鉄琴似駅)
- ◆9月16日 坂本菜々デュオ (地下鉄琴似駅)
- ◆10月25日 コパドイス・ミーツ・ホーンセクション (ことにパトス)
- ◆2月27日 ブリッジ・ジャズ・オーケストラ (ちえりあホール)



地下鉄琴似駅でのコンサート



ちえりあホールでのコンサート

コトニ クラシック

地下鉄琴似駅を会場に、無料のクラシックコンサートを開催し、札幌交響楽団コンサートマスターの大平まゆみさんとピアニストの明上山貴代さんが出演しました。また、ことにパトスでの拡大版コンサートを開催し、札幌打楽器奏者の大家和樹さん、札幌フルート奏者の高橋聖純さんらが出演しました。(全4回、約950人)



地下鉄琴似駅でのコンサート

〈数値目標〉 コトニ ジャズ、コトニ クラシック合わせて来場者数 1,000 人
⇒ 実績 約 2,300 人

コトニ☆ナイト

ターミナルプラザことにパトスを会場に、音楽、最先端の映像及びダンスパフォーマンスを融合したメディアアートイベントを9月と2月の2回実施しました。札幌市を中心に活躍するDJ TAMAさんを中心に、Yuta Iwasaki Urban Quintetによるジャズの生演奏やDJ、ジャズバンド、ダンサーのコラボレーションによるダンスショーケースを行いました。

〈数値目標〉 来場者数 300人 ⇒ 実績 250人



ジャズバンドとDJのセッション



ダンスショーケース

こども・あーと・にしく

子どもたちが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供し、子どもたちの創造性を喚起するため、市内外で活躍する芸術家を招いてワークショップを3回実施しました。

8月に在京のクラフト作家である木暮奈津子さんを招き「新聞紙で海の不思議な生き物を作ろう！」を実施。新聞紙を材料にカラフルなオブジェを制作しました。

1月には jobin. さんを講師に、「毛糸とフェルトでフクロウをつくろう！」を実施。

子どもたちが自ら作った作品で、空間をデザインする「インスタレーション」を体験しました。

(夏休み期間中に同内容で2回、冬休み期間中に1回開催。53人参加)



8月 新聞紙で海の不思議な生き物を作ろう！



1月 毛糸とフェルトでフクロウをつくろう！

3 誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり

地域の防災力強化

職員の災害発生時の対応力を強化するため、「西区災害対策本部訓練（1月22日）」、全基幹避難所を対象とした「避難所運営実地研修（9月）」を実施したほか、地域団体と防災関係団体が一堂に会する「西区災害防止安全対策連絡会議（2月19日）」を開催し、防災に関する情報を共有しました。

また、手稲東小学校において地域団体、防災関係団体、児童参加による「西区防災訓練（9月2日）」を実施するとともに、地域の防災担当者向けの「防災リーダー研修（11月25日）」を実施することにより、自主防災組織の機能強化や活動支援を行いました。

〈数値目標〉 防災リーダー研修の参加人数 100人 ⇒ 実績 123人



防災リーダー研修の様子

地域主体の子育て活動の充実

子育て情報ステーション「さんかくやまベエのへや」を拠点とし、子育てサロンの紹介など多岐に亘る情報を発信するとともに、利用者からの子育て相談を行うなど、支援の充実を図りました。

また、地域が主体となって開設している子育てサロンの活動を支援するとともに、子育てサロンやミニイベントなどで、



さんかくやまベエまつり

地域で子育てを支援するボランティアと子育て世代との交流につなげました。

〈数値目標〉

子育て情報ステーション利用者数

3,300人⇒実績 5,336人

子育てサロンや託児などのボランティア活動延べ参加者数 1,650人⇒実績 2,122人

地域における支え合い推進

母子・高齢者・障がい者などが孤立しないよう、関係機関が連携して、各地区において個別支援や相談、見守りを実施しました。

個別支援や相談、見守りの充実に向けて、西町地区をモデル地区として様々な取組を行いました。特に、地域による子育て支援の充実を目指して、子育て支援者交流会、1日子育てサロンなどを福祉のまち推進センターと共催しました。



1日子育てサロンの様子

介護予防体操の普及

介護予防体操「エコロコ！やまべえ誰でも体操」が区民の手で広まるよう、普及員を養成する講座を2回開催(受講者数 27名)したほか、幅広い対象者への普及を目指し、介護保険関連施設や事業所の従事者を対象とした、専門職向けの普及員養成講座を新たに開催(受講者数 21名)しました。

これまでに登録された普及員は163名となり、普及員の皆さんは発寒川さわやかコンサートや五天山公園ふれあい夏祭り等、区内各地区でのイベントにおいて体操を紹介するとともに、保健所健康企画課主催の“健康なまちづくりフォーラム in さっぽろ”に参加し、普及員の活動内容について発表しました。

さらに、区内の小学校2校に訪問し、体操の効果や健康づくりの大切さについて児童にも学んでもらいました。

〈数値目標〉 新規普及員養成講座受講者数 60人 ⇒ 実績 48人



普及員養成講座



小学校訪問

4 地域と共に進めるまちづくり

地域の課題解決をまちセンがサポート

住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指し、区内に8カ所ある「まちづくりセンター」が、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえたさまざまな事業を行いました。

八軒まちづくりセンター

あったか交流会 ～ウォームシェア DE 介護予防～

冬は家に閉じこもりになりがちな高齢者を中心に参加を促し、介護予防と地域交流による見守り活動、そしてエネルギー節約にもつながるウォームシェア事業を実施しています。健康体操で体を動かしたり、温かい料理を楽しむなど、各回の実施内容を工夫しています。
(開催実績 5回 168名)



あったか交流会での様子

琴似二十四軒まちづくりセンター

琴似地区・二十四軒地区に設立された「まちづくり協議会」の活動をバックアップ

1. 琴似地区まちづくり協議会

- (1) イベントカレンダーの作成：まちのイベントの3カ月分を地下鉄駅等で掲示
- (2) キャンドルナイト in 琴似: 夏至の日の一斉ライトダウンを呼びかけ
- (3) 琴似屯田兵入村140周年記念事業
 - ・ オープニングセレモニー(400人)
 - ・ 歴史講演会(3回、延べ530人)
 - ・ 屯田140トークサロン(9回、延べ210人)
 - ・ 歴史劇(5公演+公開稽古、延べ965人)



歴史劇「会津藩、かく戦へり」

2. 二十四軒会館コミュニティサロン等運営協議会

- (1) まちもりトーク in 二十四軒: 親子盆踊り祭りに併せて、FMラジオを公開生放送
- (2) 二十四軒会館大文化祭: 落語や陵北中放送局制作のドラマ鑑賞会等を実施

西町まちづくりセンター

子ども達の夢を応援！！西町・コンサ通りまちづくり事業
未来を担う子ども達の世代が地域に愛着を深められるような活気ある住みよい街を目指し、「地域の児童とコンサドーレ選手との交流」や「地元企業と連携したお菓子作り体験」などに取り組みました。



コンサドーレ選手との交流

発寒北まちづくりセンター

発寒北地域内一斉環境美化週間「発北キラキラ7days」

地域の小中学生が提案した「地域の皆さんと一緒にこのまちをキレイにしたい！」という思いを実現した環境美化活動「発北キラキラ7days」を実施しました。

発寒小・発寒東小・西陵中の全校児童・生徒のほか、町内会、商店街、企業、団体などから延べ約1,900人が参加し、地域の清掃や花壇整備を行いました。



発寒東小での活動の様子

西野まちづくりセンター

水車のあるまち西野

かつては水田地帯が広がり、稲作が盛んに行われていた西野地区の歴史を地域の子もたちに伝えるため「水車で地域交流会」を実施しました。地域の方から直接、西野の歴史を学んだほか、瓶や棒を使った昔ながらの精米体験や縄作り、羽釜を用いた炊飯作業などを行いました。



精米体験の様子

山の手まちづくりセンター

ネットワークで発揮する“まちづくり力”支援事業

山の手まちづくりセンターにて、4回（4月15日、7月22日、11月10日、2月23日）地区内の金融機関及び高齢者支援専門機関が集まり、困った様子的高齢者を対象に、個人情報を守りながら手を差し伸べる方法について情報交換を行いました。各企業から、具体的支援方法の紹介や研修会において高齢者認知症支援を取り入れたなどの報告もあり、今後もネットワーク会議の継続と地域への拡大を図ります。



啓発チラシを作成・配布

発寒まちづくりセンター

地域にやさしいまちづくりの推進～エコタウンはっさむ町内会・商店街・子ども会などが連携して環境に優しい取り組みを行う「エコタウンはっさむ」の活動を行いました。

公園の落ち葉を発酵させて堆肥化する「みどりの貯金箱」や、使用済み天ぷら油をリサイクルして石けんを作る「エコ石けん作り教室」などを実施しました。



発寒まちセンでのエコ石けん作り教室

八軒中央まちづくりセンター

まちづくり探検隊 Part 9～わたしたちのまちの防災～

地域への愛着を深め、まちづくりの担い手としての意識を育むため、琴似中央小学校5年生と八軒中央連合町内会、まちづくりセンターが連携して活動する「まちづくり探検隊」。

今年は、新たに「わたしたちのまちの防災」をテーマとして、地域の防災について学び、DIG(災害図上訓練)を体験したり、防災施設を見学するなどして防災の知識と意識を深めました。

また、その活動の成果として「防災パンフレット」を作成し、地域へ発信しました。



DIG(災害図上訓練)を体験

区内のまちづくり活動の情報発信

広報さっぽろや西区ホームページ、区役所にある掲示板などで、地域住民によるまちづくりのワークショップや商店街による地域活性化のイベントなどを紹介し、活動の担い手の発掘や参加の促進に努めました。



区役所1階ロビーにある掲示板で、地域のまちづくり活動の様子を紹介

西区広報動画「西区まちあるきノオト」

西区の歴史・文化・四季の自然・名所などを紹介する広報動画をDVDに収めて区内全小中学校に配布し、将来のまちづくりの担い手となる小中学生に視聴を働きかけました。

併せて、広報さっぽろなどの印刷物やTwitter、コミュニティFM放送なども活用し、多くの区民に西区ホームページで動画を見てもらえるようPRしました。



「西区まちあるきノオト」の映像紹介

西区花とみどりの回廊づくり

道路景観の向上を目指し、二十四軒手稻通（愛称：ラベンダー通り）のラベンダーによるシンボルロードづくりを沿道の企業・住民との協働による歩道美化などを進めたほか、幹線道路の植樹ます等への花植えによる歩道美化や新川コスモス街道づくりを地域住民との協働で行いました。

〈数値目標〉

ラベンダー通り

植樹帯等へ植栽 4,000 株 ⇒ 実績 4,000 株

(1 連合町内会・11 町内会・15 事業所・4 個人)

新川コスモス街道

除草、種植え実施距離 2.5km ⇒ 実績 2.5km (1 連合町内会)



植樹帯へのラベンダー植栽



新川通のコスモス